

一人一人の生活に必要とするものは、大抵、その生活の範囲に於ては、
 自給自足の生活を営むことである。然るに、現代の社会は、
 高度の分工と協力を必要とするに至り、個人が自給自足の生活を
 営むことは、極めて困難である。従って、社会は、個人が自給自
 足の生活を営むことを、奨励するのではなく、協力を必要とする
 生活を営むことを、奨励する必要がある。協力を必要とする生活
 を営むためには、協力を必要とする生活を営むための組織を、
 社会は、創設する必要がある。協力を必要とする生活を営むた
 めには、協力を必要とする生活を営むための組織を、社会は、
 創設する必要がある。協力を必要とする生活を営むためには、
 協力を必要とする生活を営むための組織を、社会は、創設する
 必要がある。協力を必要とする生活を営むためには、協力を必要
 とする生活を営むための組織を、社会は、創設する必要がある。
 協力を必要とする生活を営むためには、協力を必要とする生活
 を営むための組織を、社会は、創設する必要がある。協力を必要
 とする生活を営むためには、協力を必要とする生活を営むための
 組織を、社会は、創設する必要がある。協力を必要とする生活を
 営むためには、協力を必要とする生活を営むための組織を、社会
 は、創設する必要がある。協力を必要とする生活を営むためには、
 協力を必要とする生活を営むための組織を、社会は、創設する
 必要がある。協力を必要とする生活を営むためには、協力を必要
 とする生活を営むための組織を、社会は、創設する必要がある。

農産物協同組合大支所

財団法人協同會大阪支所

第五ハ、農産物價ノ昂上ガ策一米穀調節資金増額、前ノ共同保
 管ナド一デアアル。コレニヨツテアル丈農産物價ヲ昂上ガサレルカ
 ハ、モトヨリ疑問デアアル上ニ、ソレハ屢々農産物ノ投機的賣買ニ
 利用サレル。政黨員及地方有力者ニ投機的利得ヲ得サシメルノ
 ガ精々デアラツ。爾々農民ニトツテ重要ナコトハ、彼等ニ不可能
 ナルカ、ル投機的ナ利得ニ均等スルコトデハナクテ米作、養蚕ニ
 ヲツテ現實ニ損失スル今日ノ事態ニ對シテ、國家ヲ直チニ有効ナ
 ル補償方法ヲ講ズルコトデナケレバナラヌ。
 第四ハ、農産物ノ統制策デアツテ、植民地米ノ輸入制限、製米
 業ノ免許ナドガコレデアアル。統制ノ名ハ美シイガ、ソレニヨツテ
 獨占的利益ヲ享受スルモノハ、イフマデモナク大生産者、大商人
 デアリ、小生産者、小商人デハナイ。
 コレハ資本主義制度ニ於ケル統制ノ根本原則デアツテ、農産物ニ